

令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

複数申請の有無で[無]を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんふいるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 平井 俊邦		
制作団体所在地	〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1		
電話番号	03-5378-6311	FAX番号	03-5378-6161
ふりがな 公演団体名	にほんふいるはーもにーこうきょうがくだん 日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 平井 俊邦		
公演団体所在地	〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1		
制作団体 設立年月	1956年 6月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:平井俊邦 副理事長:五味康昌 常務理事:中根幹太、後藤朋俊、福井英次 理事:石井啓一郎、遠藤滋、田村浩章、戸所邦弘、福本ともみ	楽団員 92名 事務局員 24名 合計:116名	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	高橋 勇人
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	浅見 浩司

<p>制作団体沿革</p>	<p>1956年6月創立、楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務め、当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こしました。2019年4月に第6回ヨーロッパ公演を成功裡に終え、2021年6月には創立65周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年2月29日の公演の中止を皮切りに、2021年3月(2020年度末)までに72公演が中止となりました。芸術・文化活動をする環境が大きく毀損した現代の日本社会の中でも、オンラインや映像を活用した新たな取り組みを含め、「芸術性」と「社会性」を兼ね備えた楽団として、引き続き以下の3つの柱で活動を継続しております。</p> <p>・オーケストラ・コンサート 首席指揮者ビエタリ・インキネンをはじめ、主要ポストを海外在住者が務める日本フィルにとって、コロナ禍による渡航制限により彼らやソリストの来日が叶わないことは、大きな痛手となりました。主催公演(2020年度実績:49公演)としては東京(サントリーホール)・横浜(みなとみらいホール)での定期演奏会、名曲・サンデーコンサート、夏休みコンサート・第九コンサート・その他のシリーズで、開催するホールと連携し安全対策を講じつつ、引き続き内容・運営ともに工夫を凝らしてまいります。共催・受託公演(2020年度実績:39公演)は、杉並区・埼玉県・府中市等自治体主催の公演、ホールとの共催事業、文化庁主催学校巡回公演や学校主催公演等を継続的に実施しています。</p> <p>・エデュケーション・プログラム この子どもたちや高齢者といった社会的に弱い立場の世代でも、希望を持って生き生きと生活していくために日本フィルのエデュケーション・プログラムの果たす役割は、ますます重要である、と認識しています。 夏休みコンサート:今年47年目を迎え親から子さらに孫の世代へと受け継がれるコンサート。2021年は感染症対策を施しつつ一年ぶりに一都三県で15公演を開催し、更に盛岡市でも公演を行い、宮古市・陸前高田市の子供達との共演も実現しました。8月21日には福島県でも公演を予定しております。 コミュニケーション・ディレクターのマイケル・スペンサー氏と行っている「音楽ワークショップ」も女子美術大学の学生を対象にオンラインとリアルな複合により実施しました。</p> <p>・リージョナル・アクティビティ(地域活動) 芸術活動とともに日本フィルが大切にしている社会活動の実践の場が、全国各地で地域との協働を展開するリージョナル・アクティビティ(地域活動)です。コロナ禍の中でも感染症予防対策を取りながら、フランチャイズする杉並公会堂と杉並区役所と連携し弦楽四重奏の室内楽から再スタートしました。遠隔地との移動がままならず九州公演の代替としては、オンライン技術や映像を活用し、地元のホールのスクリーンを使用している「ライブビューイング」で、演奏をリアルタイムで楽しんでいただきました。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2020年度 オーケストラ公演 = 7回 室内楽公演(主な編成 = 弦楽四重奏・木管五重奏・金管五重奏) 杉並区小・中学校 = 10回、さいたま市小・中学校 = 15回 被災地(岩手県・宮城県・福島県 小中学校) = 3回 ワークショップ = 4回 クリニック = 5回</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>2007年12月 山梨県立かえで支援学校(オケ公演) 2008年1月 船橋市立船橋支援学校(オケ公演) 2013年5月 さいたま市立さくら草特別支援学校(室内楽公演) 2013年11月 栃木県栃木特別支援学校(オケ公演) 2016年10月 東京都立青峰学園(オケ公演) 2017年12月 東京都立城東特別支援学校(オケ公演) 2018年11月 広島県立呉特別支援学校(オケ公演)</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>公開資料有の場合URL</p> <p>閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>公開資料有の場合URL</p> <p>閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>無</p> <p>無</p> <p>ID: <input type="text"/> PW: <input type="text"/></p> <p>有</p> <p>ID: <input type="text"/> PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)		中学生
	小学生(中学年)		
	小学生(高学年)		
企画名	「様々なリズムを、身近な音楽で感じよう(ソプラノ歌手による合唱指導つき)」		
本公演演目(小学校プログラム) 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【小学校 プログラム】 サーカスのピエロの登場場面などでお馴染み、元気な2拍子の行進曲で演奏会の幕開けです フチーク:行進曲(剣闘士の入場) 踊りをテーマにした3拍子の華やかな曲です レハール:ワルツ(金と銀) 一つ一つの楽器を、解説とパフォーマンスでご紹介します</p> <p>【楽器紹介】 弦楽器のみの合奏で、軽快で繊細な響きを感じよう モーツァルト:ディヴェルティメント K. 136 より(第1楽章) 力強いプロバンス太鼓で、躍動的な踊りのリズムを感じよう ピゼー: (アルルの女)より「ファランドール」 ソプラノ歌手とオーケストラの共演で、オペラの魅力に触れよう ヴェルディ:オペラ「椿姫」第1幕より(乾杯の歌) (ソプラノ入り) J.シュトラウス2世:喜劇(こもり)より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ入り) ジューズ・ウィーンわが夢の街(ソプラノ入り) 4拍子や6/8拍子の親しみやすい旋律で、大人気の曲を ポロディン:歌劇(イーゴリ公)より「ダッタン人の踊り」 学校と協議してご希望の1曲をオーケストラと共演。 「ピリーヴ」「さんぽ」等(会場合唱) みなさんの学校の校歌を、オーケストラの伴奏で歌っていただきます 学校校歌(会場合唱) (アンコール)J.シュトラウス 世:ラデツキー行進曲 公演時間(75分) 【中学校プログラム】 別紙(1)参照</p>		
著作権	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	別紙(2)参照		
演目選択理由	<p>一口にオーケストラ音楽といっても、様々な国で作曲され、その国独特のリズムが取り入れられているものもあります。その中でも児童・生徒にも感覚的に理解しやすい「踊りの音楽」を中心に取り上げ、2拍子の「剣闘士の入場」や「ハンガリー舞曲」、3拍子の「ワルツ金と銀」、4拍子の「ファランドール」、6/8拍子の「ダッタン人の踊り」等のリズムの違いを体験していただきます。「心も躍る軽快な曲」から「ゆったりとした曲」まで、オーケストラならではの幅広い表現力を駆使して皆さんを飽きさせません。</p> <p>オープニングは、みんなが知っているユニークな2拍子の行進曲「剣闘士の入場」。続いての「金と銀」は3拍子のワルツの曲で、優雅な舞踏会を連想させます。弦楽器合奏で取り上げる「ディヴェルティメントK.136」は、親しみやすい旋律で、児童たちもどこかで聴いたことがあるかもしれません。「ファランドール」は、プロヴァンス太鼓の躍動感あるリズムで、児童も思わず踊りたくなること請け合いです。</p> <p>公演の中盤には、本格的な舞台衣装を纏ったソプラノ歌手が登場し「乾杯の歌」をはじめ3曲を歌います。オーケストラの伴奏に乗って体育館一杯に響き渡るその美しい歌声は、児童・生徒の心をとりにします。</p> <p>「ダッタン人の踊り」は、ミュージカルのテーマやTVコマーシャルでも度々使用されており、曲のタイトルは知らなくても、冒頭の甘美なメロディを知っている児童生徒は少なくないでしょう。</p> <p>交響曲第5番より(第1楽章)(中学校のみ)は、冒頭の「ダダダダ」という短いテーマが、何度も繰り返され曲が展開していきます。「事前ワークショップ」で演奏する「クラッピン・ミュージック」も、短いテーマが繰り返され不思議な音空間を形成し、「運命の動機」との関連性を思い起こさせます。中学生の感性を刺激し、新たな音楽への関心に繋がることを期待します。</p> <p>小学校での楽器紹介は、奏者が児童の前に出て、工夫を凝らした1フレーズを演奏し、楽器ごとの形や色、大きさ、音色の違いを感じていただきます。</p> <p>中学校での楽器紹介は「カジノユキ編曲:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」」を演奏します。ナレーションとソロ演奏により、各楽器を紹介していきます。題材になっているメロディは日本の名曲ですので、聴き馴染んだ音楽を通して楽器が学べます。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>オーケストラの伴奏により、校歌をはじめ、学校の希望に合わせた曲を歌っていただきます。プロフェッショナルの歌手による歌唱法のワンポイント・レクチャーは日本フィルが行う本公演の最大の特徴で、短時間の指導であっても児童・生徒の歌声に「見(聴き)違えるほど張りが出た」と、先生方も驚くような効果が期待されます。</p> <p>中学校では、指揮者体験コーナーを設けます。体験できる人数は最大3名ですが、プロの音楽家の前に立ち、演奏を導く体験は生徒にとって得難いもので、指揮により演奏がどう変わるのか、オーケストラをリードするとはどういうことが、生徒自身が体験的に理解でき、実演に対する理解が深まります。</p>		
出演者	<p>指揮:中井 章徳(日程により 他1名) ソプラノ:坂井田真実子「二期会」所属(日程により 他1名) 管弦楽:日本フィルハーモニー交響楽団 2管 12型 編成は原則、会場条件等により変更する可能性があります *共演者については、エデュケーション・プログラムに豊富な実績をもつ日本フィルが演目内容によって、コーディネイトいたします。</p>		
公演出演予定者数(1公演あたり)	<p>出演者: 66 名 スタッフ: 8 名 合計: 74 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量: 4 t 車長: 8 m 台数: 2 台</p>

【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団 】

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間	2	時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時	13時30分～15時	分	15時～16時	16時
	本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		300人			
	本公演		600人			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>事前ワークショップ [Aプログラム / 音楽室探検ワークショップ] ・打楽器紹介 / 学校の音楽室にあるタンバリンや小太鼓、カステネットやマリンバ(シロフォン)等をお借りして、打楽器奏者がオーケストラの中で使うさまざまな奏法で鳴らします。 ・ヴァイオリン等メロディを担当する楽器紹介ソロ演奏を交えながら楽器の紹介をします。 ・アンサンブル演奏 / メロディや伴奏といった合奏の形態をレクチャーします。 ・手拍子体験 / 児童生徒さんに参加いただき、手拍子によるリズム遊びをします。 [Bプログラム / アンサンブルのミニレクチャーコンサート] ・例えば弦楽器奏者4名(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)による四重奏等、奏者による曲目解説や楽器紹介を行います。 ・児童生徒が指揮者となってアンサンブルを指揮する「指揮者体験コーナー」があります。 ・「この曲は何の曲?」といった曲名当てクイズコーナーがあります。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>[Aプログラム / 音楽室探検ワークショップ] ・上記のような児童生徒にも馴染みの楽器をプロ奏者ならではの技術を駆使することで、その楽器の魅力に気づいていただきます。 ・手拍子体験では、簡単なリズムパターンを示し2グループに別れ、それが同時に進行することで不思議な音楽空間ができることを体感していただきます。 [Bプログラム / アンサンブルのミニレクチャーコンサート] ・アンサンブル演奏とレクチャーで、「メロディ・リズム・ハーモニー」といった音楽の3大要素を楽しく理解していただきます。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	状況に応じて、参加型のクイズ・コーナーや手拍子のワークショップのボリュームを縮小し、鑑賞中心にしたり、楽員の伴奏による校歌斉唱に変更することも可能です。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団】
<p>本公演演目(中学校プログラム)</p>	<p>【中学校 プログラム】 名曲中の名曲で、コンサートに誘います ベートーヴェン:交響曲第5番(運命)より「第1楽章」 踊りをテーマにした3拍子の華やかな曲です レハール:ワルツ(金と銀) ソプラノ歌手とオーケストラの共演で、オペラの魅力に触れよう ヴェルディ:オペラ「椿姫」第1幕より(乾杯の歌)(ソプラノ入り) J.シュトラウス2世:喜歌劇(こもり)より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ入り) ジーツィンスキー:ウィーンわが夢の街(ソプラノ入り) 楽器紹介のために編曲された曲で音色の違いを理解しよう カジノユキ編:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」 プロの指導の下で、指揮者になってみよう 【指揮者体験】*生徒3人 ブラームス:ハンガリー舞曲第5番(最終部分) ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 *指揮者による通し演奏 4拍子や6/8拍子の親しみやすい旋律で、大人気の曲を ボロディン:歌劇(イーゴリ公)より「ダッタン人の踊り」 学校と協議してご希望の1曲をオーケストラと共演。 「校歌」もしくは「ピリーブ」(会場合唱) (アンコール)ピゼー:(アルルの女)より「ファランドール」 公演時間(85分)</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団 】
公演概要	<p>フチーク:行進曲(剣闘士の入場)(小学校のみ) チェコ出身のフチークがブラスバンドのために作曲した行進曲です。ローマの剣闘士が競技場に入場する場面イメージした音楽。ファンファーレに続いて、広く知られた陽気なメロディが登場し、トロンボーン等による力強いメロディが続きます。トリオの部分に入ると流麗なメロディが奏され、それが高らかに歌い上げられて結ばれます。</p>	
	<p>レハール:ワルツ(金と銀) この曲は、1902年の謝肉祭の間に催されたパウリーネ・メッテルニヒ侯爵夫人主催の舞踏会のために作曲されました。題名の「金と銀」とは、この舞踏会の課題名で、会場は銀色に照らされ、天井には金色の星が煌き、壁一面に金銀の飾りが付けられ、参加者も金銀に彩られた思い思いの装飾を纏っていたと伝えられます。今日では代表的なウィンナ・ワルツとして、ヨハン・シュトラウス2世などの作品とともによく演奏されます。</p>	
	<p>モーツァルト:ディヴェルティメント K.136 より(第1楽章) (小学校のみ) ディヴェルティメントは日本語では「嬉遊曲」あるいは「喜遊曲」と訳され、本来は貴族の晩餐や社交の場などで演奏された軽妙で楽しい雰囲気曲です。この曲は、1772年、モーツァルトがわずか16歳の時に作曲した3曲セットの作品の1曲目で、とても有名な作品です。モーツァルトは前年の2回目のイタリア旅行から故郷のザルツブルクに戻ったばかりで、イタリアでの様々な音楽体験の影響を受けた作品です。第1楽章は、晴朗なメロディが流れる、潑刺とした音楽です。</p>	
	<p>ヴェルディ:歌劇「椿姫」第1幕 より(乾杯の歌) (ソプラノ入り) ヴェルディは19世紀を代表するイタリアのオペラ作曲家。オペラ「椿姫」はヴェルディの代表作とされるだけでなく、世界のオペラ劇場の中でも最も上演回数が多い作品の一つに数えられています。「乾杯の歌」は第1幕に歌われるアリアで、主人公の男女がパーティで初めて出会う場面の歌です。</p>	
	<p>ジーツィンスキー:ウィーンわが夢の街 (ソプラノ入り) ジーツィンスキー (1879 - 1952) は、ウィーンの作曲家・文筆家。この曲は「カーレンベルクの丘から下りてきたとき、夕日に満ちたウィーンの景色を眺めていて歌が浮かび」作曲されたといい、彼が生涯愛してやまなかったウィーンへの思いをノスタルジックな賛美を込めて歌い上げた歌曲。今でもウィーンを訪れる多くの観光客やウィーン市民に愛されている曲でもあります。</p>	
	<p>ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 (中学校のみ) ハンガリー舞曲とは、ブラームスがハンガリーのロマ(ジプシー)音楽を元に編曲した楽曲で、元は4手ピアノ(連弾)用として作られましたが、のちに管弦楽版に再編曲されています。第5番が一番有名で、舞曲ならではのリズム変化が特徴です。</p>	
<p>ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より(第1楽章) (中学校のみ) 冒頭の「ダダダーン」で有名な交響曲第5番は、日本では「運命」の名で親しまれており、まさにクラシック音楽の代名詞と言っても過言ではありません。ベートーヴェンはこの曲を作曲した当時は難聴でほとんど耳が聞こえないという絶望的な状態でした。冒頭の旋律の意味を弟子に尋ねられて、彼は「運命の扉をたたく音」だ、と言った逸話は有名です。その難聴を乗り越えて作曲し、第1楽章の苦しみを乗り越えて第4楽章へと繋がってゆくという構成になっており、その「第1楽章」を聴いていただきます。</p>		
<p>ボロディン:歌劇「イーゴリ公」より(ダクタン人の踊り) ロシアの作曲家ボロディンが作曲したオペラ「イーゴリ公」の第2幕の曲で、ボロディンの最も有名な曲のひとつであり、勇壮なリズムと美しい特徴ある旋律が魅力的で、クラシック音楽の中でも有数の人気曲です。しばしばオーケストラのコンサートなどで、独立して演奏されます。公演全体を締めくくるのに相応しい曲です。</p>		

日本フィルハーモニー交響楽団 メンバー表

1	中井 章徳 ほか	指揮者
2	田野倉 雅秋	コンサートマスター
3	坂井田 真実子	ソプラノ
4	九鬼 明子	1st Violin
5	佐藤 駿一郎	1st Violin
6	齋藤 政和	1st Violin
7	太田 麻衣	1st Violin
8	田村 昭博	1st Violin
9	榊 渚	1st Violin
10	中谷 郁子	1st Violin
11	西村 優子	1st Violin
12	平井 幸子	1st Violin
13	本田 純一	1st Violin
14	岡田 紗弓	1st Violin
15	遠藤 直子	2nd Violin
16	大貫 聖子	2nd Violin
17	加藤 祐一	2nd Violin
18	神尾 あずさ	2nd Violin
19	川口 貴	2nd Violin
20	町田 匡	2nd Violin
21	末廣 紗弓	2nd Violin
22	豊田 早織	2nd Violin
23	山田 千秋	2nd Violin
24	竹歳 夏鈴	2nd Violin
25	小中澤 基道	Viola
26	小俣 由佳	Viola
27	松澤 稚奈	Viola
28	高橋 智史	Viola
29	デイビッド	Viola
30	中川 裕美子	Viola
31	中溝 とも子	Viola
32	児仁井 かおり	Viola
33	江原 望	Cello
34	大澤 哲弥	Cello
35	久保 公人	Cello
36	石崎 美雨	Cello
37	山田 智樹	Cello
38	横山 桂	Cello

39	菅原 光	Contrabass
40	鈴木 優介	Contrabass
41	高山 智仁	Contrabass
42	成澤 美紀	Contrabass
43	真鍋 恵子	Flute
44	難波 薫	Flute(Piccolo)
45	松岡 裕雅	Oboe
46	佐竹 真登	Oboe
47	伊藤 寛隆	Clarinet
48	楠木 慶	Clarinet
49	鈴木 一志	Fagotto
50	田吉 佑久子	Fagotto
51	伊藤 恒男	Horn
52	宇田 紀夫	Horn
53	信末 碩才	Horn
54	原川 翔太郎	Horn
55	星野 究	Trumpet
56	中里 州宏	Trumpet
57	岸良 開城	Trombone
58	伊波 睦	Trombone
59	中根 幹太	Bass Trombone
60	柳生 和大	Tuba
61	松井 久子	Harp
62	遠藤 功	Percussion
63	福島 喜裕	Percussion
64	エリック・パケラ	Percussion
65	大河原 渉	Percussion
66	遠藤 功	Percussion
67	阿部 紋子	Stage
68	フリー	Stage
69	フリー	Stage
70	フリー	Stage
71	フリー	Stage
72	フリー	Stage
73	高橋 勇人	Office
74	杉本 哲也	Office

日本フィルハーモニー交響楽団

「文化芸術による子供育成総合事業」

～ 巡回公演事業 ～

「事前ワークショップ」



ヴァイオリンと打楽器の奏者が、アンサンブルのしくみを楽しく解りやすく解説。学校の音楽室にある、日常、児童・生徒さんが使用している打楽器をお借りし、プロの演奏家はその妙技を披露すると、会場は「すごーい！」の歓声で一杯になります。また、みんなで簡単な手拍子を使った参加型のワークショップを行います

「オーケストラ公演」



小学校では、「楽器紹介」で木管・金管奏者が、児童の目の前に進み、その特徴ある音色をソロで演奏します。弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器、それぞれの楽器グループでのアンサンブルもあり、楽しくも内容の濃い楽器紹介です。



オーケストラ公演の中盤に、舞台衣装をまとったソプラノ歌手が登場し、体育館をいっそう華やかな空間にします。普段から合唱に親しんでいる児童・生徒たちも、体育館いっぱいに響き渡るソプラノの美しい歌声に、歌のすばらしさを再認識しているようです



児童・生徒さんたちの合唱による「ビリーブ」や「さんぽ」そして「校歌」は、オーケストラと音楽を創る共同作業です。その冒頭、ソプラノ歌手が、「良い声」を出すための心構えと「コツ」を簡単にレクチャー。オーケストラに負けない元気な歌声が会場いっぱいに鳴り響きます。



「指揮者体験コーナー」も大好評。音楽系クラブに所属しているかは問いません。最初は緊張していた生徒も、指揮者のレクチャーで立派なタクトさばきに。また指揮のテンポの違いで、曲想が変わることにも気づかされる瞬間でもあります。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D48	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	5室	条件	小部屋(指揮者1、ソプラノ、コンマス1)、30人収容大部屋(男性1、女性1) * 中部屋(男性2、女性2)も可です。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック	2台	大型バス	3台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック(大きさは修学旅行時に使用する大型バス1台分)					不可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			屋外でもコンクリートやアスファルト敷きで、導線に屋根は必須です。渡り廊下でも可。10m以内ですとありがたい				可	
	搬入経路の最低条件			体育館と屋根のある動線で繋がる建物への横付けは必須条件をお願いします。修学旅行のバスが校内に入り、体育館に横付けできるかでイメージ願います。				可	
	理由			大型楽器にて地面の移動は不可です。雨天対策で屋根も必須です。また、幹線道路から学校までの経路でも、交差点等で大型トラックが通れないカーブが無いのか？確認願います。				/	
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	3m(2.5mでも可)	高さ	2m		可	
WSについて	参加可能人数	体育館だと300人程度までがありがたいです。1学年で音楽室でも可能です。					可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可		
	所要時間の目安 単位:分	45分							
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			体育館の広さ次第です。舞台下から中央に向かって12mから児童・生徒が座れます。その枠内なら何人でも可(最大600人が目安)です。					可
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	20m	奥行	9m	高さ	指定無し	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			(用具をある程度寄せて頂けるとありがたいです)				可
		緞帳 *		不要		バトン *		不要	
	遮光(暗幕等)の要否 *			要		理由		可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要					—
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量				—	
	その他特記事項							応相談	
楽器運搬トラックや大型バスの経路に、低い木の枝などが無いかもご確認願います。							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	3m(2.5mでも可)	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		屋外でもコンクリートやアスファルト敷きで、導線に屋根は必須です。渡り廊下でも可。10m以内ですとありがたいです。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

